

いの流水俳壇

間 浩太 選

「当季雑詠」

鮎影に網を打つ人竿の人

大川 節弥

〔評〕鮎は清楚な姿をした魚の王で鰻とともに珍重され、知らない人はいないと思う。

川の中の苔が常食で香りがよい。神話の時代より知られた魚である。

鮎漁の解禁の六月一日(川により違う)には、一斉に鮎漁に押し掛ける、友釣や網その他の漁法があり、夢中になって漁をする。

この句の作者は、解禁日に多くの人が鮎漁をするのを、見物したときに作句したものだと思われまふ。鮎影が見えるのは多くの鮎がいるからであり、鮎が多くいることを「鮎影」と言つて省略しており、「網を打つ人竿の人」で「多くの漁人が」いたことを言わなくても想像できる。俳句でいう省略とは、このことだろうかと思ひました。昭和のころには全国の多くの河川の中で、仁淀川は良質の鮎の産地として知られていた。またその前は、ずいぶん多くの鮎がいたことを聞いている。鮎・鰻などの川魚が減ったことは残念である。

切株の傷口なめる蟻の群

岡村 嘉夫

〔評〕蟻の種類は多いが、普通われわれの

目に触れるのは、働き蟻でたくましい労働者である。巣を作り、餌を運び、卵の世話をし、幼虫を哺育し、天気の良い昼間は幼虫や蛹を温度の高い地表へ移動し、外敵を防ぐなどに従事する。

知能的な生活も見られる、一匹が餌を見つけると、他の仲間を連れてくる。蟻の列を見ていると、おたがいに触角をふれ合つて、何か通信しあつていようである。

冬は地中にいて、夏は盛んに外へ出て食物をとり、巣に運び貯蔵する。

働きものの蟻は、唱歌でも歌われていますが、あの小さい黒い蟻の群れを見て、俳句を作ろうという気はおこりません。

詩情が湧かないからでしょうか。

歳時記には、蟻の句は思つた以上に多くあります。

この句の作者は、樹の切り株の蟻の群れを見て、俳句しているのに感心しました。

どの樹でも切り傷からは、分泌物(やに)が出ますが、それが蟻や小虫の好物で、作者の見た蟻の群れも、最初に見つけた蟻が連絡したものと思われまふ。想像すると面白い。

風と手をつないで歩く浴衣の子

伊藤 萩甫

〔評〕浴衣は高級なものもあるが、ふつうは入浴後など、くつろいで着る夏の家庭着であるが、外出にも着られるようになってきた。

浴衣姿に夏らしい美しさを見て俳句に詠まれるようになった。

この句の「風と手をつないで」の表現は、俳句らしい楽しい、また面白い表現

です。

この句を詠んで、親子が入浴・食後、浴衣を着て、かわいらしい姿で涼風が吹いている田園の道などを手をつないで、散歩している家族の姿、幸せを感じさせる、情景が想像されます。幸せを感じさせる、あるいは幸せを呼び込むような俳句が、よい俳句の一つの条件でもあります。

枝蛙飛んで緑を濃ゆくせり

片岡 包女

買はれたる風鈴に風ついてゆく

岡本とも子

樟脳の香りに梅雨を遠ざける

竹崎たかひろ

初めての行く道楽し道をしえ

小野川町子

老々の心身燃やす合歓の花

森岡 照月

ふと窓に煌々と在り梅雨の月

田蔦恵美子

静かさを刻む秒針梅雨の午後

友草 水月

足踏みミシンの出番梅雨霽り

井上 郁子

帽子掛亡夫の夏帽かけしまま

津田 久美

ミンミンやたしかに聞きし独り居に

弘瀬うき子

梅雨長し置かれしままの耕耘機

川村 博子

田植終りし朝の鏡にある安堵

松尾満津於

棚田鋤く螢の川の水入れて

間 浩太

次 題 「当季雑詠」五句
締め切り 毎月五日

投句先

社会教育課

いの町3597

893-2012

今月のことも川柳

すず虫の 音色で心 いやされる

川内小6年 大久保朋美
〔評〕すず虫の音色は何色だったのでしょうか。心をいやしてくれる虫の音色、朋美さんの心の色、ゆたかさ、やさしさが伝わってきますね。

リサイクル 使える物は、さい利用

川内小4年 越智 美空
〔評〕リサイクルは、はい物のさい利用、物を大切にする。今の時代を生きている子どもたちに大人が教えられています。

たんぼの わたげがふわり たびしてる

川内小6年 野口 朱莉
〔評〕たんぼのわたげがたびをする。子どもの感性がルンルン気分になってくる。

一りん車 いろいろためす キメワザも

川内小4年 岡村 りん
一年生 天使のように かわいいな

川内小6年 金子明香里
雨の日は かえるゲコゲコ 歌います

川内小6年 山本 美花
つばめのす こうばめたちで にぎわうよ

川内小6年 山本 樹輝
あたたい ママのおふろ 楽しいな

川内小4年 西村ひまり
雲の中 金のゆびわが 光ってる

長沢小6年 山中 伊織
やあみんないてきだね げんきかな

伊野小3年 森田 瑠

※「こども川柳」は町内全小学校の児童の皆さんを対象に募集しています。次回提出締め切りは9月20日(木)です。たくさん皆さんの応募をお待ちしています。(応募は各小学校を通じてお願いします)
※選評は、川柳連会の皆さんにお願いしています。